

国語（国語表現）

履修単位	3単位	学 年	3年
学科コース	商業科	区 分	必修・選択
使用教科書	国語表現（大修館書店）		
副教材等	常用漢字ダブルクリア 四訂版（尚文出版）		

1. 科目を通じた学習内容と学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し，伝え合う力を高めるとともに，思考力や創造力を伸ばし，言語感覚を磨き，進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2. 授業を受けるにあたってのアドバイス

- ・授業の最初に毎時間，漢字の小テストを行います。小テストは必ず予習をして挑みましょう。自分の知識を積み重ねることや学習習慣を身に付けることにつながります。
- ・授業の中で，気づいたことは記述しておきましょう。気づいたこと(感動したこと)は，自分の知識を深めることができる大切なポイントです。インターネットや図書館などを活用して，関連する論文や書籍を読む（インプット）とともに，自分で調べたものをクラスの仲間や先生に伝えること（アウトプット）も自身の理解を深めるうえでとても大切です。
- ・日頃から読書をする習慣を身に付けましょう。さまざまな本を読むことで，自分の考えや思いを広げ深めることができます。

3. 科目を通じた評価の観点と評価方法

観点	知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」，「書くこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり，ものの見方，感じ方，考え方を深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，読書に親しむことで自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評 価 方 法	授業態度 発問評価 学習課題集の提出 定期考査	音読 話し合い 調査とまとめ 発表・報告 定期考査	リフレクションシート ポートフォリオ

上に示す観点に基づいて，学習のまとまり（単元）ごとに評価し，学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4. 年間を通した学習計画

(より詳細な「学習内容・ねらい」・「評価の観点・評価方法」等については、各単元の最初の授業等で説明します。)

知識・技能＝【知技】 思考・判断・表現＝【思判表】 主体的に学習に取り組む態度＝【態度】

学期	単元の学習内容	単元の学習目標（ねらい）	単元の評価規準	主な評価の観点			備考
				知技	思判表	態度	
1	言葉と表記	基本的な表記の決まりや正しい言葉の使い方を確認し、さまざまな「書く」活動への準備をする。	表記の決まりを意識し、正しく書くことができた。 漢字や慣用表現を正しく使うことができた。	○		○	
	整った文を書く	読みやすくわかりやすい、整った文を書く学習をする。	係り受けについて理解することが出来た。文末表現の統一について理解することができた。	○		○	
	相手に応じた言葉遣い	相手や場面によってふさわしい言葉遣いを学ぶ。言葉のニュアンスを意識し、適切に使いこなす。	敬語について正しい知識を持ち、その使い分けについて理解できた。 話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解することができた。和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解することができた。	○		○	
	わかりやすい文を書く	相手に正確に伝わるようにわかりやすい文にするための留意点を学ぶ。	長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解することができた。読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解することができた。	○		○	
	文のつなぎ方	長い文章などの文と文の適切なつなぎ方を学ぶ。	接続表現の種類と働きを理解することができた。文脈によるつながりを理解することができた。	○		○	
	自分を見つめて	今後の進路や社会と自分の関係を考え、自分を見つめ、自分を見つめることを学ぶ。	経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考えることができた。他者の意見を聞いて、自分の長所を見つけることができた。	○		○	
	効果的な自己PR	自分の魅力や特長をわかりやすく印象的に伝える練習をする。	自分の特長を端的に表現した、印象に残る自己PR原稿を書くことができた。事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをすることができた。		○	○	
	将来の自分を考えよう	自分の将来の夢をより現実的なものにするために、就きたい職業について調べ、将来の自分について文章を書く。	就きたい職業に就くための必要なことを調べることができた。調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめることができた。		○	○	
	志望理由を書こう	わかりやすく具体的に相手に伝えるために、説得力のある志望理由をまとめる。	志望先に提出する書類に求められていることが理解できた。具体的に要素の関連性を重視した書類が書けた。適切な言葉遣いを用いることができた。		○	○	
	自己推薦書や学修計画書を書く	自分をアピールするさまざまな書類に取り組み、多様な書式に対応できる力を身に付ける。	志望先に提出する書類に求められていることが理解できた。具体的に要素の関連性を重視した書類が書けた。適切な言葉遣いを用いることができた。		○	○	
	面接にチャレンジ	自分の魅力や人柄を相手に伝えるために、話す内容や質問をあらかじめ想定し練習する。友人と役割分担をして、面接の練習をする。	適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをすることができた。質問に対して、具体的に説得力がある答え方をすることができた。		○	○	
	自己紹介ゲーム	対話や言葉を伝え合うことはすべてのコミュニケーションの出発点によるもので、伝え合うことを学ぶ。	自己紹介のやりとりをとおして、相互理解を図ることができた。取り上げる内容や話し方を工夫して、わかりやすい自己紹介をすることができた。	○	○	○	
2	小論文とは何か	小論文とは何かを理解し、意見を論理的に書く基本的な書き方を学ぶ。	小論文の基本的な書き方を理解することができた。意見を筋道を立てて書くことができた。原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解することができた。	○	○	○	
	反論を想定して書く	文章で相手を説得するために、文章の構成のしかたを学ぶ。対立する立場を想定し、小論文に強い説得力をもたせる方法を学ぶ。	自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解することができた。反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書くことができた。	○	○	○	

	文章を読み取って書く	他者の文章を読み取りその内容に対する意見を書く。文章の要旨を正確につかみ、自分の立場を明らかにし、意見を展開する方法を学ぶ。	文章の要旨をつかむための方法を理解することができた。資料に対する自分の意見を明確にして小論文を書くことができた。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	通信文を書き分ける	通信文の内容や形式を学び、書き方と使い分けを学習する。	さまざまな通信文の形式を理解することができた。相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書くことができた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	電話を使いこなす	さまざまな人との電話で話すときの話し方を学び、練習する。	初対面や目上の人に対する電話の話し方を理解することができた。相手に応じた適切な言葉遣いや応対のしかたを理解することができた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	ネット社会との付き合い方	コミュニケーションのツールは多彩になり、それぞれの注意点や危険性も意識し上手に使いこなすことを学ぶ。	ネットを用いたコミュニケーションの特徴と使用する上での留意点を理解することができた。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	ネットを活用した情報収集	インターネットを上手に活用し、質の高い情報収集の方法を身に付ける。	インターネットでの情報の検索のしかたと、その注意点について理解することができた。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	
	メディアと情報	現代社会のさまざまなメディアの特徴を理解し、情報を吟味しながら活用する姿勢を身に付ける。	情報が編集されていることを理解することができた。メディアごとに立場や条件が異なり、情報の使い方が異なることを理解した。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	読書への誘い	無限に広がる読書の世界に入り、さまざまな分野を学ぶ。	多くの人の優れた表現に触れることができ、多様な生き方や考え方を知ることができた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	ビブリオバトルをしよう	おもしろい本との出会いやおすすを友人にすすめる活動をする。	自分がすすめる本をうまく表現し、相手に伝えることができた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
3	相手や場面に応じた会話	ロールプレイを通して場面に応じた話し方を学ぶ。	場面にふさわしい言葉遣いを考えることができた。適切な言葉遣いでロールプレイができた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	スピーチをしよう	効果的に伝わるショートスピーチの構成を考え、スピーチメモを作成する。 効果的に伝わるショートスピーチの構成を考え、スピーチメモを作成する。	・効果的に伝えることや相手の話を聞く姿勢を意識し、意欲的に学習に取り組むことができた。 ・声の大きさやスピード、抑揚などを意識しながらスピーチすることができた。 ・発表における適切な言葉遣いを意識してスピーチすることができた。	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	プレゼンテーションの工夫	文字や映像、音声を使って情報を効果的に伝え、説得力のある説明をすることを学ぶ。	プレゼンテーションのテーマに合わせて、十分な資料の準備、発表の準備をすることができた。聞き手の興味を引くような工夫をして、わかりやすく発表することができた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	言葉で遊ぶ	日本の多種多様な言葉遊びを楽しむ、作品を制作する。音の響きやおもしろさや意味の広がりや豊かさを感じる。	さまざまな言葉遊びを知り、自分で作品を作ることができた。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	「わが町自慢」のパンフレット作り	読者を引きつけるために読みやすく参照しやすい工夫を身に付ける。	読みやすく参照になるパンフレットや冊子を作成することができた。活動の手順をふまえ、自分なりに理解しながら友人と協力して、写真や図などを用いて、見やすいレイアウトを工夫することができた。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	